

# 「育成しようとする技術者像」

## 教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

## 専攻科学生の学習目標

- I **人間性** 正課、校外活動等を通して、豊かな人間性と教養および広い視野を身につける。
- II **創造性** 複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- III **国際性** グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につける。

### 「環境・生産システム工学」教育プログラムの学習・教育到達目標

- (A) **教養**： 地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- (B) **倫理と責任**： 技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- (C) **コミュニケーション**： 日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- (D) **工学基礎**： 数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- (E) **継続的学習**： 技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- (F) **専門の実践技術**： ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
- (G) **複合領域の実践技術**： 他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
- (H) **社会と時代が求める技術**： 社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
- (I) **チームワーク**： 自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。